



# 本巣市 議会だより

第18号

## contents

|             |      |
|-------------|------|
| 3月議会開かれる    | P. 2 |
| 20年度予算決まる   | P. 4 |
| 委員会活動       | P. 7 |
| 3議員が一般質問に立つ | P.10 |
| この人に聞く      | P.12 |



●3月議会開かれる●

この度、議員各位のご推挙をいただき、副議長に選任され、身に余る光栄であります。瀬川議長のもと、公正で円満な議会運営、市民から信頼される議会を目指してまいります。さて、議員の使命は、議会活動を通じ、住民の個別意思を総合して、市としての意思を形成する任務を有し、本巣市の発展のため誠心誠意努力することです。そのためには、今まで以上に執行機関との連携を密にし、かつ納得いくまで政策について議論しあい、市民にとって何が最良の方策であるかを追求していくことであると考えます。

市民の皆様には、議会活動について、今後とも変わらぬご指導、ご協力を心よりお願い申し上げまして、副議長就任のごあいさつといたします。



副議長  
中村重光

# 3月議会開かれる



## ●国に対する意見書を提出●

### 議員提案による 意見書を可決

#### 混合型血管奇形の難病指定を求める意見書

「混合型血管奇形」は、動脈、静脈、毛細血管、リンパ管のうち複数の血管の先天性形成不全をいい、体幹から四肢にかけて大小の腫瘍や瘻のような症状が見られる。

血管の形成が不完全で脆弱なことから、患部は外傷により大量出血を起こす恐れやウイルス等の細菌に感染すると患部全体に広がり生命の危険にさらされる恐れのある病気である。こうしたことから、安静保持が必要で、日常生活が著しく制限されることとなっている。また、患部には血管が異常に成長し栄養過剰となることなどからか、成長に伴って下肢長差、背骨の変形異常といった症状が現れてきている。

この病気の専門医は国内でも極めて少なく患者数の正確な統計もないという状況であり、一般人はもとより、医師や難病対策に関わっている専門家の間でも認知度は低く、また、病気の原因が明らかではない。

さらには難病に指定されていないため、その治療方法も確立されておらず有効な改善策が見当たらない現状である。また医療や生活の支援もないため、患者や家族にとって精神的、経済的な負担は非常に大きなものとなっている。

よって、国におかれでは、「混合型血管奇形」を難病に指定することにより、早期に原因の解明や治療方法の研究、確立を図るとともに、患者が安心して治療を受けられる支援をおこなうよう、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

#### 看護職員確保法の改正を求める意見書

今、看護の現場は、過酷な勤務実態、仕事に追われ、満足な看護が出来ないジレンマの中で離職が相次ぎ、看護職員不足は深刻な問題であり、安全でゆきとどいた看護を実現するために、増員と離職防止は切実な課題となっている。

「看護師等の人材確保の促進に関する法律(看護職員確保法)」が1992年に制定され、人材確保に一定の効果をあげてきたが、さらに看護職員の確保と離職防止に有効な施策へと強化することが求められている。

現行の看護職員確保法を改正し、月8日以内夜勤など、夜勤の最低規制に強制力を持たせること。また、国と自治体が中心となって看護師確保を計画的にすすめる仕組みをつくることなどが必要である。

第166回通常国会でも「医師・看護師など医療従事者の大幅増員」「看護職員は、夜間は患者10人に1人以上、日勤時は患者4人に1人以上」「夜勤日数を月8日以内に規制するなど看護職員確保法の改正」を求める請願署名も採択されている。

よって、国において、看護職員を大幅に増員するため、夜勤を月8日以内に規制するなど「看護師等の人材確保の促進に関する法律」を改正することを求めるものである。

## 介護職員の人材確保に関する意見書

本格的な高齢社会を迎えるにあたり、介護サービスに対する国民のニーズや期待はますます高まり、今後必要とされる介護職員の安定的な確保が必要不可欠な状況となっている。

国は、介護・福祉分野の人材確保指針を改正したところであるが介護職員の現状は、給与水準が低く、厳しい労働環境などから離職率が高くなってしまっており、介護制度が十分機能していくための人材確保が緊急の課題となっている。

よって本巣市議会は国及び政府に対し、介護ニーズに対応するのに必要な人材を安定的に確保するため、マンパワーへの適切な報酬体系の確立や労働環境の改善を早急に図るよう強く要望する。

## 深刻な医師不足打開のため法制定を求める意見書

全国で医師不足により地域の病院や診療科が休止され、必要な医療が受けられないという深刻な事態が起こっている。岐阜県内でも多くの病院が医師不足による診療科の休止や制限、診療日数の制限などを起こしており、医師不足の実態と、その原因を明らかにし、緊急の対策をとることが求められている。

日本の医師数はOECD加盟30ヶ国の平均3.1人（人口1,000人あたり）に対して2.0人と絶対数そのものが非常に少なく、どの地域でも深刻な不足に陥っている。

医師不足を解決するため、次に掲げるとおり早急に対応策を講じることが重要である。

1. 医学部定員削減の閣議決定を見直し、医師養成数を増やす。
2. 勤務医が働き続けられるように環境整備と必要な財源措置を講じる。
3. 僱地勤務や不足が著しい専門科を積極的に選択できる条件づくり。
4. 医療事故の原因究明と再発事故防止についての早急な対応策を講じる。

よって、国において、医師の養成を大幅に増やし、勤務条件の改善をはかるため、医師確保に向けて必要な法律を制定し、必要な予算措置をとることを求めるものである。

## 道路特定財源の暫定税率堅持及び関連法案の年度内成立を求める意見書

道路は、最も重要な生活関連資本として、住民の日常生活や経済・社会活動を支えるものであり、地域の活性化と豊かな生活を実現するために、優先的に整備されるものであります。

特に本市においては、広い市域であり、北部は山間地という地形的条件からも、自動車交通への依存度が高く、道路は市民生活の生命線であります。東海環状自動車道路西回りルートの整備、国道157号、303号、418号を基軸とする幹線道路並びにこれに接続する道路ネットワークの整備が緊急の課題となっております。

このような中、毎年、道路特定財源を上回る多くの一般財源を投入して道路整備を行っているのが現状であり、仮に現行の道路特定財源の暫定税率が廃止された場合、本市においては約2億円規模の減収が生じることとなり、厳しい財政状況の中で、道路の新設はもとより、着工中の事業継続が困難となるなど、道路整備は深刻な事態に陥ることが予想されます。

さらには、本市の財政運営を直撃し、教育や福祉といった他の行政サービスの低下など市民生活にも深刻な影響を及ぼしかねません。

よって、国においては、現行の道路特定財源の暫定税率を堅持し、関連法案を年度内に成立させるよう強く要望します。

●20年度予算決まる●

# 8900万円に決まる

## ◎特別会計・企業会計

| 会 計 名                        | 予 算 額     | 増 減 額      | 増減率    | 議決結果 |
|------------------------------|-----------|------------|--------|------|
| 国民健康保険特別会計                   | 35億7700万円 | 5100万円     | 1.4%   | 賛成多数 |
| 老人保健医療特別会計                   | 3億円       | △28億5000万円 | △90.5% | 賛成多数 |
| (増減の理由 後期高齢者医療へ制度変更による減額)    |           |            |        |      |
| 後期高齢者医療特別会計                  | 3億200万円   | —          | —      | 賛成多数 |
| 平成20年4月からの新規特別会計             |           |            |        |      |
| 簡易水道特別会計                     | 6億500万円   | 500万円      | 0.8%   | 全員賛成 |
| 農業集落排水特別会計                   | 5億4800万円  | △6億6500万円  | △54.8% | 全員賛成 |
| (真正浄化センター新設による施設管理料1037万8千円) |           |            |        |      |
| 公共下水道特別会計                    | 7億5600万円  | △4000万円    | △5.0%  | 全員賛成 |
| 水道事業会計<br>収益的事業              | 3億1800万円  | 200万円      | 0.6%   | 全員賛成 |
| 資本的事業                        | 4億8300万円  | △3億800万円   | △38.9% |      |

## ◎19年度補正予算(いずれも全員賛成)

| 会 計 名      | 補 正 額     | 最終予算額       |
|------------|-----------|-------------|
| 一般会計       | △9543万9千円 | 155億704万5千円 |
| 国民健康保険特別会計 | 事業勘定      | △171万5千円    |
|            | 施設勘定      | △387万3千円    |
| 老人保健医療特別会計 | △3876万8千円 | 31億2313万8千円 |
| 簡易水道特別会計   | 703万2千円   | 6億1753万0千円  |
| 農業集落排水特別会計 | △9152万2千円 | 11億2096万7千円 |
| 公共下水道特別会計  | △1083万7千円 | 7億8025万7千円  |
| 水道事業会計     | 収益的収入     | △901万8千円    |
|            | 収益的支出     | △901万8千円    |
|            | 資本的収入     | △5650万0千円   |
|            | 資本的支出     | △5660万0千円   |

# 20年度予算は総額206億

◎一般会計予算…138億（前年度対比10.2%減）賛成多数

## ◎主な内容

|                                 |          |
|---------------------------------|----------|
| 西部連絡道路整備事業<br>(川西～山口、向道地内)      | 3億6493万円 |
| 保育園施設改修工事<br>真桑・弾正保育園の増築工事費     | 2億8861万円 |
| 南部ふれあい会館(仮称)整備工事                | 2億4205万円 |
| 橋梁新設改良事業<br>(根尾黒津～越波線の須合橋架替え事業) | 1億1722万円 |
| 樽見鉄道運営維持補助金<br>車両購入費3520万円等     | 1億699万円  |

## ◎議会全員協議会協議事項

本会議・各委員会以外に、議員全員による協議会を開催

### ●2月28日

- (1)20年度当初予算の概要について
- (2)本巣市後期高齢者医療に関する条例の制定について
- (3)本巣市国民健康保険税条例の一部改正の概要について
- (4)本巣市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定等について
- (5)真桑・弾正保育園の増築について
- (6)宗慶地内の工事に伴う補償について
- (7)淡墨公園の整備について
- (8)南部ふれあい会館(仮称)建設について

### ●3月10日

- ・根尾西辺地に係る総合整備計画変更について

### ●3月11日

- (1)19年度補正予算について
- (2)20年度当初予算について
- (3)審議会等議員選出委員について

### ●3月21日

- ・徳山ダム集団移転地文殊団地に係る移転対策について



## ◎議決された議案

◎本巣市副市長の選任 全員賛成

小野 精三 氏

◎本巣市監査委員の選任 全員賛成

三田村 晃 氏

◎本巣市教育委員の選任 全員賛成

片岡 孝一 氏 白木 裕治 氏

◎副議長の選挙

中村 重光 議員

◎本巣市選挙管理委員及び補充員の選挙

選挙管理委員………高橋 和夫 氏 後藤 進 氏 飯尾 秀和 氏 伊藤 美奈子 氏

選挙管理委員補充員………小野島 正俊 氏 石川 章 氏 伊藤 左紀子 氏 安藤 隆 氏

◎岐阜県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙

市長:藤原 勉

◎本巣市後期高齢者医療に関する条例 賛成多数

◎本巣市うすみふれあいプラザ条例(樽見駅舎) 全員賛成

◎本巣市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 全員賛成

◎本巣市基金条例の一部を改正する条例 賛成多数

◎本巣市国民健康保険条例の一部を改正する条例 全員賛成

◎本巣市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例 全員賛成

◎本巣市農業振興地域整備促進協議会条例の一部を改正する条例 全員賛成

◎本巣市企業誘致促進審議会条例の一部を改正する条例 全員賛成

◎本巣市織部の里もとす条例の一部を改正する条例 全員賛成

◎本巣市学校給食センター条例の一部を改正する条例 全員賛成

◎根尾西辺地に係る総合整備計画の変更 全員賛成

◎本巣市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定等 全員賛成

## 意見書

◎混合型血管奇形の難病指定を求める意見書の採択 全員賛成

◎深刻な医師不足打開にため法制定を求める意見書の採択 全員賛成

◎看護職員確保法の改正を求める意見書の採択 全員賛成

◎介護職員の人材確保に関する意見書の採択 全員賛成

◎道路特定財源の暫定税率堅持及び関連法案の年度内成立を

求める意見書の採択 賛成多数

◎後期高齢者医療制度の見直しを求める意見書の採択 反対多数

## 委員会活動

**総務企画  
委員会**  
平成20年3月13日(木)

## 審査付託議案

## 1.本巣市うすみふれあいプラザ条例(樽見駅舎) 全員賛成

Q 使用終了時間が午後4時までとなっているが、早いのではないか。

A 規定では時間延長できることになっています。状況に応じ対応したい。

Q 樽見駅構内にウォーキングの案内看板が設置してあるが、古くて見にくくなっている。補修をしてはどうか。

A プラザ(樽見駅舎)の回廊に沿った壁面を活用し、ウォーキング等の案内を掲示することを考えていきたい。補修については、掲示の際に検討します。

## 2.本巣市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 全員賛成

## 3.20年度本巣市一般会計予算(関係部分協議)

Q 地方再生対策費1億8500万円については、どのような事業にあてるのか。

A 第1次産業人口比率、高齢者人口の比率、耕作面積、林野面積が算定根拠となります。一般財源として取り扱うため使用形態は特段考えていません。

Q たばこ税が2111万3千円減となっている。喫煙者が減ったのか、または販売店舗が減ったのか。

A 実績に基づくものです。喫煙者が減ったということで、販売店舗が減ったわけではありません。

Q 現在、本巣消防根尾分署の職員は3人体制です。救急車が出動すると職員が不在となるため、4人体制にできないか。また、消火栓のホース格納ボックスにはホースが3本備えてあるが、4本にできないか。

A 4人体制については、以前から本巣消防事務組合に要望している。今後も、引き続いて要望していく。また、消火栓ホースについては、現在3本という基準で格納しているが、今後、再度考えていきたい。

Q 消火栓器具の設置と管理はどのように行っているのか。

A 消火栓器具の経費は市で負担し、管理は自治会でお願いすることとしています。

Q 樽見鉄道に今後3年間は支援するということであるが、行政として市民に啓蒙活動を押し進めながら存続に向け努力するようお願いしたい。

A 赤字補填の条件に、樽見鉄道の経常損失が8700万円を越えるようになった場合は、運営形態、その他廃止も含め、検討せざるを得ないという付帯意見も付いています。また、車両の購入を考えているが経費節約のため、中古車両の導入も検討しています。

Q 根尾地域振興事業調査委託料、西美濃夢回廊事業の事業内容については。

A 根尾地域振興事業調査委託料については特産品開発のため、農協に委託し、現在13名の生産者で、にんにくの生産に取り組んでいます。また、西美濃夢回廊事業は、根尾地域、揖斐川町一円の観光ルートと道路整備を一体で進めていくという事業です。

Q 樽見鉄道の経営改善と、もとバスの改革について市長の考えは。

A 地域の交通確保という観点から、市民を交え協議する場をつくり、議論を深め、検討していく。

Q 男女共同参画に向けた取り組みについて説明願いたい。また、市民の方々になかなか浸透しづらいものがあるので、その辺りを考えて欲しい。

A 計画に沿って進んでいます。市民の皆さんには、ホームページ等、可能な限り情報を公開していく。

## 協議会報告

20年1月30日(水)に総務企画委員会協議会を開催し、徳山ダム集団移転地文殊団地に係る移転対策地の今後の利用について協議しました。

## ●委員会活動●

## 委員会活動

## 文教福祉

## 委員会

3月13日(木)

## 審査付託議案

1. 本巣市後期高齢者医療に関する条例 賛成多数  
 2. 本巣市基金条例の一部を改正する条例 賛成多数  
 3. 本巣市国民健康保険条例の一部を改正する条例 全員賛成

4. 本巣市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例 全員賛成

Q 65歳～74歳の重度寝たきりの方等は、申請すれば後期高齢者医療の対象になるが、申請しない場合の医療助成は。

A 本人が申請すれば助成の対象になります。

5. 本巣市学校給食センター条例の一部を改正する条例 全員賛成

6. 20年度本巣市一般会計予算 (関係部分協議)

Q 地域支援事業委託料821万5千円は。

A もとす広域連合から受託し、地域に即した介護予防事業（栄養指導、リズム体操等）として、市から社会福祉協議会と医療機関へ再委託するものです。

Q 社会福祉総務費の四季彩館入湯料が大きく伸びたのは。

A 根尾地域の全世帯へ一人1枚配布している温泉優待券が、21年3月末日までの期限のため、駆け込み利用増を見込んだためです。

Q 障害者福祉費の就労支援費が前年より減となっているが。

A 28人が利用され、国の軽減措置で一人当たり平均1万5千円が8340円になったことによる減額です。

Q 社会教育使用料（生涯学習施設ながみね、さくら資料館等）について、施設活用増につながる対応は検討されたのか。

A 桜どきにPR等例年通り進めています。金額は過去3年間の実績を踏まえての計上です。

Q (仮) 南部ふれあい会館の管理等、地元との関係は。

A 維持管理は市との要望がありました。自治会が役員交代のため4月に入って連絡調整し協議していきます。

Q 耐震補強工事の今後の計画は。

A 21年度は真桑小の北舎、22年度は席田小の東舎、23年度は外山小の校舎・体育館、24年度は一色小の西舎を予定しています。

7. 20年度本巣市国民健康保険特別会計予算 賛成多数

Q 後期高齢者、特定健診等、市民への負担影響は。また国保会計への影響は。

A 市民の負担は最小限にしたい。一部住民は負担増となるが総体的には減となります。

Q 後期高齢者医療の保険料は年金で年18万円以上は特別徴収、18万円以下は普通徴収だが割合は。

A 約80%が特別徴収。約20%が普通徴収の割合です。

8. 20年度本巣市後期高齢者医療特別会計予算 賛成多数

Q 75歳以上で治らない病気の人の健診は。

A 20年度は健診を受ければ助成対象。以降は、健診を受けても対象外になります。

9. 20年度本巣市老人保健医療特別会計予算 賛成多数

## 意見書の審査について

1. 混合型血管奇形の難病指定を求める意見書の採択  
 2. 深刻な医師不足打開のため法制定を求める意見書の採択  
 3. 看護職員確保法の改正を求める意見書の採択  
 4. 介護職員の人材確保に関する意見書の採択

## 協議会報告

- ・20年2月5日（火）に文教福祉委員会協議会を開催し、真桑・弾正保育園の増築について、しんせいスポーツクラブについて等の報告を市執行部から受けました。

## その他

- ・本巣市学校給食センター運営方法について報告

# 委員会活動

## 産業建設 委員会

3月14日(金)

### 審査付託議案

1. 本巣市農業振興地域整備促進協議会条例の一部を改正する条例 ————— 全員賛成
  2. 本巣市企業誘致促進審議会条例の一部を改正する条例 ————— 全員賛成
  3. 本巣市織部の里もとす条例の一部を改正する条例 ————— 全員賛成
  4. 20年度本巣市簡易水道特別会計予算 ————— 全員賛成
  5. 20年度本巣市農業集落排水特別会計予算 ————— 全員賛成
  6. 20年度本巣市公共下水道特別会計予算 ————— 全員賛成
- ② 石神地区の下水道を本巣処理場へつなぐ合理的な方法についてその後は。  
 ③ 本巣関係自治会の了解が得られていません。
7. 20年度本巣市水道事業会計予算 ————— 全員賛成
  8. 20年度本巣市一般会計予算 (関係部分協議)  
 ② 西部連絡道路で旧道の歩道が無い区間については。  
 ③ 新設区間では、本巣川西で一部未買収。歩道は別の補助事業採択を要望します。  
 ④ 根尾須合橋工事について、R157の長期通行止、林道の冬季通行止、漁協との調整等で施行期間が制限される中、住民の生活、奥地の、国・県の事業への対策は十分か。  
 ⑤ 一部通行止めが必要。地域の方へは説明済です。  
 ⑥ モンキードッグ訓練委託料が昨年より増であるが内容と今後の方針は。  
 ⑦ 2頭分の訓練と、成果維持のため長野県から本巣市へ出張指導を予定。今後の進め方については委員会と相談して検討していきます。  
 ⑧ 淡墨、市場駐車場の整理委託料が296万5千円増となっている理由は。また、駐車場収入等の内容は。  
 ⑨ 駐車場の料金徴収は日々雇用で行っていたが、業者委託に変更するため増額となります。収入としては20年度予算で1090万円。委託料、ごみ処理等を差し引き、240万8千円の黒字を見込んでいます。  
 ⑩ 間伐事業補助金の予算が消化されず、間伐が進まない状況が続いているが。  
 ⑪ 県の補助事業については、面積要件が厳しい。小規模の山林所有者の了解を得ながら、間伐推進をしている状況。  
 ⑫ 観光費・企画運営委託料1000万円の内容は。  
 ⑬ うすずみ活性化イベントであるが、詳細については今後検討します。

### 意見書の審査について

1. 道路特定財源の暫定税率堅持及び関連法案の年度内成立を求める意見書について。  
 廃止の場合、地方財政運営を直撃し、道路のみならず教育や福祉といった行政サービスの低下など、市民生活に影響を及ぼしかねないため、意見書の提出を決定。
2. 鳥獣被害防止措置法関連予算を、鳥獣獲得ではなく自然林復旧と被害防止に使うこと等を求める意見書については、取り扱わない決定。

### 協議会報告

- ・20年1月28日(月)に産業建設委員会協議会を開催し、根尾地域の現況と今後の事業計画について、越美山系砂防事務所と協議しました。



3月定例議会

## 一般質問

## 3議員が一般質問に立つ



鷹 飼

静 雄  
議員

舟 渡

洋 子  
議員

**Q 市政に取り組む姿勢は**  
市長が選挙の中で訴えられたことは、要約すると、①市民との対話を通じた市政運営、言い換えるば「市民参加と市民協働のまちづくり」、②だれもが安心して住めるまちづくりのために、きめ細かい福祉施策の推進、③そのためにも財政基盤を確立できるよう、産業振興が柱だと思います。

可能なものから着実に実行しています。

**Q 行政方針の見直しを**  
市は「行政改革実施計画」で、「ねたきり老人等介護者慰労金支給事業」など各種事業の縮小を打ち出しています。現実には、実施段階で再検討し、現状維持のものもありますが、「行政実施計画」

あります。市長がマニフェストで打ち出しされた施策のうち、乳幼児医療費助成の中学生までの拡大や妊婦健診への助成拡大など、早期に実現可能なものについては、ぜひ積極的に推進してほしいと考えます。

6月議会に向けて、どういう形で市政に取り組んでいかれるのか、現時点での考えを伺います。

市長の所信表明の中にも、妊婦健診を拡充するのですが、どの程度拡充されますか。また県外にて里帰り出産されるかたには、無料券が使えないのに、償還払いができるのでしょうか。

**A 公費助成拡充を検討**

藤原・市長

19年度県内の交付状況は35歳未満に対し2回であったが、20年度予定状況は6回前後に拡充しております。里帰り健診の推移についても現在、県外において4回まで助成しています。無料健診・里帰り健診とも補正予算において10回程度まで拡充したいと考えています。

て住民自らの防犯活動を欠かすことができず、全域に活動を活発化するために、防犯担当窓口を設置して総合力で協力しやすい環境の整備情報の提供を。また地域安心安全情報共有システムを構築し、市主導で市民に安心安全メールの配信ができないでしょうか。

**A 明るい社会構築に努める**

鰐見・企画部長

現在、青色回転灯装備車両による防犯パトロール・子ども110番の家施策・防災行政無線による情報提供を実施。安全安心メールでは7小学校で不審者情報を。岐阜県警察安全安心メールでは個人にメール配信されています。今後ケーブルテレビの活用を検討していきます。

情報の一元的に調整するため「本巣市生活安全推進協議会」を組織し、市民と行政が協働して安全で安心な明るい社会を築けよう努めます。

**A 早期に対応可能なものから実行します。**

藤原・市長

行政改革も総点検の対象にし、実施状況の検証、新たな数値目標の設定など、最小の経費で最大の効果が發揮できるように努めます。

市政の総点検と踏まえ、「生かすところは生かす、改めるべきは改める」姿勢で進め、早期に対応

市政に取り組んでいかれるのか、現時点での考えを伺います。

市長の「総点検」が市民の暮らしや福祉を守るものになるよう、行政改革の方針も見直し、総点検の対象にしてはどうでしょうか。

参考・受診4回→10回500万円の増。

**Q 地域安心安全の取り組みは**

安全で安心して暮らせる地域社会を築くには、警察の力に加え

## 一般質問

**Q うすずみ公園整備事業について**

本市においては、約2億円が減収となる見込みで市財政が極めて深刻な事態に直面することが予想されます。

どのような財源を使い進められるのが適切か。

高橋  
秀和

議員

秀和 議員

**Q 道路特定財源の、暫定税率延長について**

ガソリンが1リットル当たり25円の値下がりとなれば、市民の感覚は延長に反対の立場になることが予想されるが、市政を預かる立場での考えはいかがか。

**A 暫定税率の延長が必要**

藤原・市長

ガソリン税などを引き下げれば、誰しもが喜びを感じられると思いますが、東海環状自動車をはじめとする道路の整備や道路の維持修繕に支障が生ずるだけでなく市の財政に多大な影響を与えるかねない問題となります。

本市においては、約2億円が減収となる見込みで市財政が極めて深刻な事態に直面することが予想されます。

観光事業の目玉とするならどの位の経済効果を見込まれているのか。

**A 効果的な事業推進を図る**

藤原・根尾総合支所長

「まちづくり交付金」の事業メニューに組み入れ、事業化を図っていきたい。

経済効果の数値的な効果は、把握していません。

うすずみ公園周辺の魅力ある再開発により、一層の経済効果と既存観光施設等との相乗効果が期待できると 생각ています。

事業を進めるにあたり、議員ならびに関係機関の皆様方のご意見を聞きながら効果的な事業推進を図ります。

## 議会議員活動日誌

| 日時       | 場所       | 内 容              |
|----------|----------|------------------|
| 2月1日(金)  | 恵那峡国際ホテル | 県市議会議長会          |
| 2月5日(火)  |          | 文教福祉委員会協議会       |
| 2月17日(日) | 市民文化ホール  | ほほえみジユニア文化祭      |
| 2月26日(火) | すこやかセンター | 市国民健康保険運営協議会     |
| 2月27日(水) | 岐阜護国神社   | 議会全員協議会          |
| 2月28日(木) |          | 市遺族連合会戦没者慰靈祭     |
| 3月3日(月)  | 本巣公民館    | 議会運営委員会          |
| 3月5日(水)  | 真正保健センター | 早春淡墨桜浪漫ウォーク実行委員会 |
| 3月6日(木)  | 市民文化ホール  | 市健康づくり推進協議会      |
| 3月8日(土)  | 糸貫ぬくもりの里 | 給食センター竣工式        |
| 3月9日(日)  |          | 市スポーツ少年団合同卒団式    |
| 3月10日(月) |          | 糸貫ことぶき大学閉講式      |
| 3月11日(火) | 議会運営委員会  | 定例会開会            |
| 3月12日(水) | 議会全員協議会  | 本会議              |
| 3月13日(木) | 真正分庁舎    | 総務企画委員会          |
| 3月14日(金) | 糸貫分庁舎    | 文教福祉委員会          |
| 3月19日(水) | 糸貫分庁舎    | 産業建設委員会          |
| 3月21日(金) |          | 市農業振興地域整備促進協議会   |
| 3月24日(月) | 根尾分庁舎    | 市行政改革推進委員会       |
| 3月25日(火) |          | 本会議(一般質問)        |
| 3月26日(水) |          | 議会だより編集特別委員会     |
| 3月27日(木) |          | 議会運営委員会          |
| 4月11日(金) | 市民文化ホール  | 本会議              |
| 4月8日(火)  |          | 定例会閉会            |
| 4月11日(金) | 樽見駅      | 議会だより編集特別委員会     |
| 4月15日(火) | 淡墨公園     | 市消防団入退団式         |
| 4月15日(火) | うすずみ温泉   | うすずみふれあいプラザ竣工式   |
| 4月24日(木) | 岐阜都ホテル2F | 越前市議会との交流会       |
|          |          | 議会だより編集特別委員会     |
|          |          | 第91回東海市議会議長会定期総会 |

●この人に聞く●

## interview

●インタビュー

# 所 旧根尾村長に聞く

合併して4年がたちますが、旧町村長に合併後の本巣市についてお話を聞きました。今は旧根尾村長 所和徳氏にお話を聞きします。

## ○根尾地域の今後について

◇自然が豊かで文化財も多く、観光資源もある。それらを生かして今後の発展につなげていければと思う。

◇本来の根尾の生き方は林業であった。時代が変わり、また見直される時期が来るこことを期待している。

◇福祉施設を作り、働く場をつくってはどうかと考える。

## 根尾の山林についての考え方

◇根尾の山林は地籍測量が進んでいため、境界が次第にわからなくなつてきている。間伐事業に支障が出ないよう、早急に対応が必要。

◇根尾の山林が荒れると水害につながり南部にも影響ができる。そのためにも間伐事業を進めることが必要。

## 農産物等の特産品についての考え方

◇特産品の構想はいろいろあつたが、平成7年ごろからサルの被害により作物が荒らされるようになってしまった。現在はサルが食べない、にんにくの栽培を奨励している。

◇江戸時代から明治の初めまで、根尾は美濃の玄関口であった。自動車の無いころ、現在の国道157号は越前街道であり、福井から根尾を通じて東海地方や大阪に伝わっていった。このため街道沿いの、根尾の大河原地区等にも多くの人が住んでいた。それが現在のような車社会になり、逆転してしまった。福井まで国道の改良が進めば状況が変わるとは思うが。

◇神海以北の樽見新線建設には76億200万円の巨費が投じられている。平成元年に樽見まで開通した時はお祭り騒ぎで、みんなで喜んだ。諸先輩方の熱意とこれだけの費用をかけた鉄道を経営状態が悪いからと、すぐ廃止というのはどうか。

◇幕末に、武田耕雲斎が京都へ向かう途中で根尾に立ち寄った際に、根尾の住民が1000人近い侍を手厚くもてなした。その当時の話が水戸でも伝えられて、今でもお礼を言われる。

## ○樽見鉄道について

生かした職場がないため南部で就職することとなり、その繰り返しが過疎になった原因。

旧根尾村長 所 和徳 氏

|       |          |                              |
|-------|----------|------------------------------|
| 所氏 略歴 | 昭和40年 6月 | 根尾村職員                        |
|       | 平成 5年 6月 | 助役就任                         |
|       | 平成12年12月 | 村長就任                         |
|       | 平成18年 8月 | (社)本巣市シルバー人材センター理事長に就任、現在に至る |

